



(京都西南部)

- 京都・長岡京跡(4)

所在地 京都府長岡京市今里北ノ町

調査期間 一九八六年(昭61)八月~九月

発掘機関 勝長岡京市埋蔵文化財センター

調査担当者 岩崎 誠

遺跡の種類 都城跡

遺跡の年代 八世紀末

7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

本調査は、倉庫建設に伴う事前調査として実施
長岡京跡右京三条二坊十四町推定地にあり、三条
検出が予
め、長岡
次(7 AN
査として
当調査
間小路南
この小路
位置に検

7 遺跡及び木簡出土遺構の概要
本調査は、倉庫建設に伴う事前調査として実施した。調査地は、長岡京跡右京三条二坊十四町推定地にあり、三条条間小路南側溝の

検出が予想された。このた
め、長岡京跡右京第一三九
次(7 ANIKO-4地区)調

査として行つた。

当調査では、長岡京期の

掘立柱建物一棟と、三条条

間小路南側溝が検出された

この小路側溝は、ほゞ推定

位置で検出され、その観察

位置に根出され、この根出

は、幅一・五m、深さ〇・二mを測る。埋土は、下層の砂層と上層の粘質土層に分かれ、両層から長岡京期の遺物が出土した。木簡二点は、上層から出土したもので、伴出遺物には、土器類、カマコ、斎串等があり、下層からは、和同開珎、墨書き土器等が出土した。



〔3〕「○」(斎藤の墨書き)
211×32×2 061
(岩崎 誠)

150×(13)×7 011